

# 子供達の目の輝き

第26回 同青少年相撲大会・第20回 小学校対抗試合

毎年、氷川神社境内で開催されている、池袋本町官元青年会主催の豊島第十一地区青少年相撲大会は、地域の各団体、商店会の皆様方そして氷川神社の深いご理解と後援を頂き、今年で第28回を迎える事が出来ました。

また、池袋地区六小学校による第20回小学校対抗試合も、各小学校、PTA会員の皆様のご協力のもと取り行なわれました。各校の代表選手の繰り広げる熱戦と応援の歓声で、会場の土俵回りは大いに盛り上がりました。

相撲大会は官元青年会の一年間を通じての最大の

行事です。大会事業に携わって、あらためてこのイベントを一青年会が発案、企画し、土俵づくりから、協力者からの資金集め、そして自らの手で運営、発展させていった先輩諸氏の創成期のエネルギーには感服させられます。現在、少子化による参加児童の減少という大きな課題を抱えていますが、土俵上で子供達が見せてくれるすばらしい目の輝きを励みに、少しでも多くの子が参加してくれるような大会にしていきたいと思います。(官元青年会 神林幹雄)



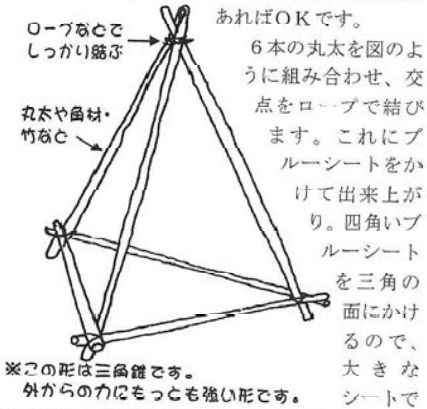
## サバイバル・ワンポイント講座 その7

# テントをつくる①

### ▲▲▲▲ 三角テント ▲▲▲▲

災害が起こった時に、家が火事になったり、地震で傾いて使えなくなることが考えられます。そのような時に、ありあわせの材料でテントをつくり、雨露をしのいで寝泊りができるような技術を学びましょう。今回から3回にわたり、5月の防災まちづくり祭で作られた仮設テントをご紹介します。

今回ご紹介するのは丸太を組み合わせてつくった三角テントです。丸太でなくても竹竿や角材、物干し竿など、2~4mの長い棒が6本



ないと隙間ができるので注意が必要です。このテントはインディアンのテントに似ています。作るポイントは足元。足元にも丸太を入れて固定しているので安定しています。風が強い時には重しを付けます。

写真のテントでは、居住性を良くするためにビールケースの上にベニヤ板を置いて床をつりました。天井が高くて、居心地のいいテントとなりました。

### 池袋中の生徒の皆さんがお手伝い

このテントは1人でもなんとか作れますが、何人か人がいるととっても簡単に作れます。今回は、10人の池袋中の生徒の皆さんが部活や塾で忙しい中を手伝ってくれました。テントづくりが終わった頃には夜になってしまいましたが、とても楽しい体験ができたことと喜んでいただくことができました。(エコライン 小野加瑞輝)



# 池袋本町 防災まちづくり

no. 22  
2001年8月7日発行

発行：池袋本町防災まちづくりの会  
豊島区まちづくり推進課  
問い合わせ先：  
(財)豊島区街づくり公社  
TEL 03-3981-4732  
編集協力：(株)防災&都市づくり財団

## 雨水タンク 設置場所募集 雨水を活用しましょう

### 防災水利の確保

池袋本町防災まちづくりの会では、地区内の防災水利を確保するために、貯水槽の設置、学校への深井戸の整備、民間井戸の整備などを行ってきました。これまでの事業で多くの整備を行い、次第に安全性は高まっています。

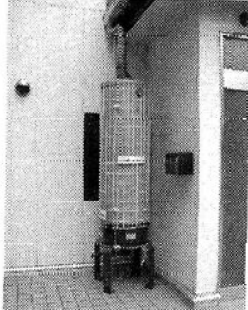
### 整備が遅れている地区

しかしながら、地区には防災水利の配置が遅れている地区があります。下図の地区です。こ



の地区は、適切な用地がないため貯水槽の設置が困難な地区です。

このような防災水利の配置が遅れている地区で、水利を確保するために、防災まちづくりの会では、雨水の活用に着手することにしました。



雨水タンクの設置例

### 雨水タンクを置かせてください

これらの地区を中心にして、雨水タンクの設置にご協力いただける方を募集します。

雨水タンクは直径が60cmほど、高さが1mほどのものです。雨樋から雨水を取り入れ貯めます。密閉されているので蚊などの虫が発生する心配はありません。貯まった雨水は驚くほどきれいで、蛇口をひねるとすぐに使うことができます。

このタンクを道路側の誰でも使える場所に設置してください。そのためにかかる費用は全て区の方で負担します。貯まった雨水は植木の水遣りなどに自由にお使いいただいでけっこうです。たくさんの方のご協力をお願いします。

つれづれに一言  
JR職員住宅跡地が「本町防災ひろば」として開放された。昨春より利用方法に関して検討会が設けられた。地域住民として、JR職員住宅跡地が明日を担う子供達の心を育むために活用されるようにとの思いでこの検討会に参加した。  
三十年程前、わが子は得意になって虫を採って来た。それはゴキブリとか団子虫の類であった。自然がとっくの昔になくなっていったのだ。子供が家に引きこもりず自然に親しみ、伸び伸びと遊べる環境作りが大切だと痛感する。今それが幾らかでも適えられるかと思うと大きな喜びだ。  
子算の關係で当面はノッパラであろうが、老若男女みんなに愛されるひろばにするには、利用する人個々の意識にかかると。他人に迷惑をかける行為はしない。ごみはださない、散らかさない等、お互いの気配りで心地よい空間にしようではないか。(小金井宣義)